

みんなで育てよう しまねの子

いきいきと 周りの『ひと・もの・こと』と関わりながら
遊び育つ子ども



島根県幼児教育センター
(島根県健康福祉部 島根県教育委員会)

小学校入学までに島根ではどんな子どもを育てるの？

島根県は、令和2年7月に「島根県幼児教育振興プログラム」を策定し、保育所といった幼児教育施設、市町村、地域が協力した「オール島根」で島根県の0歳から6歳までの子どもをよりよい育ちや学びができるようにしていきます。

めざす子ども像

いきいきと 周りの「ひと・もの・こと」と関わりながら
遊び育つ子ども

3つの姿

と

3つの資質・能力

いきいきと活動する姿

自分で考えたり挑戦したりしながら、心と体を動かし、その心地よさや楽しさを感じ、心身ともに健康な生活を自らつくり出す

心と体を働かせる資質・能力

例えば 幼児教育修了時には
基本的生活習慣を身に付ける

思い切り体を動かしたり、感動したことを絵や体で表現する



紙玉がうまくあたるかな

周りの「ひと・もの・こと」と関わる姿

友達と互いに認め合い意見を言い合いながら、より広い環境に関わり、きまりをつくったり我慢したりしてより楽しく遊ぼうとする

自他を大切に協働する 資質・能力

例えば 幼児教育修了時には
自分で何かしようと願いを持って、友達と協力する
いいこと、悪いことを自分で考えて行動する



ねえ見て、ぼくの発見

遊び育つ姿

様々な気付きや試行錯誤をしながら夢中で遊び、自分の遊びについて振り返ったり友達の遊びを知ったりして、さらに新しい遊びを考える

自ら気付き考える 資質・能力

例えば 幼児教育修了時には
地域の方や、自然、施設、行事に積極的に関わる
失敗しても粘り強く自分の見つけた遊びに没頭する

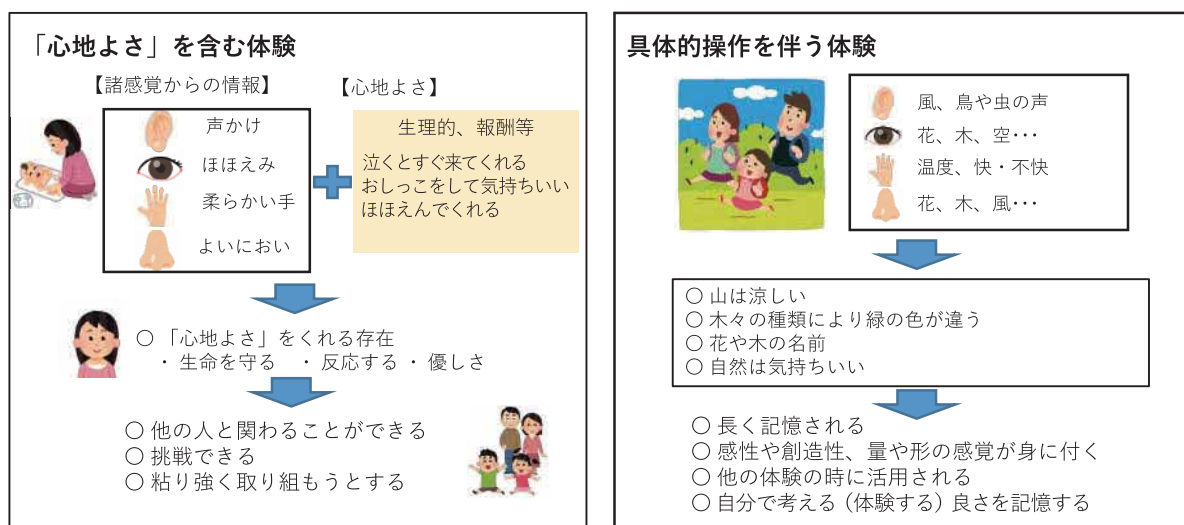


転がるって面白い

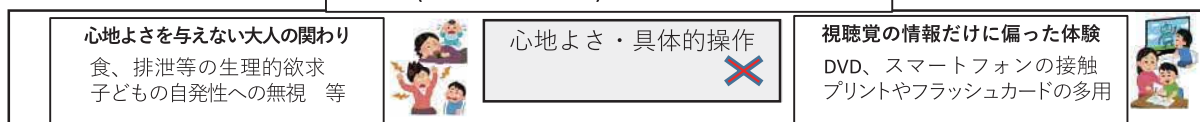
幼児期の子どもはどんな育ち、学びをするの？

乳幼児期の子どもの発達は、脳の発達とともに進んでいきます。胎児のころから、運動能力や視聴覚の機能が急激に発達していきます。やがて、感情や記憶といった心や学習に関わる機能が発達していきます。また、発達は、一人一人の子どもによって違いますし、個人でも時間や日によって後退や停滞することもあります。

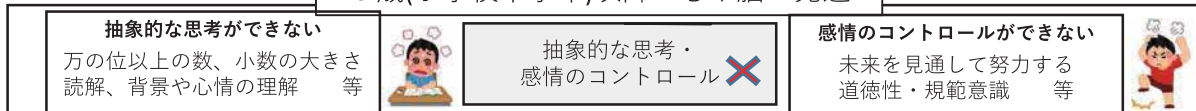
乳幼児期は、周りの大人が「心地よさ」をくれる存在であると子どもが捉えられる体験、具体的操作を伴う体験をより多く行うことで、心や脳の発達が適切に行われます。



8歳(小学校低学年)までの不適切な体験



9歳(小学校中学年)以降の心や脳の発達

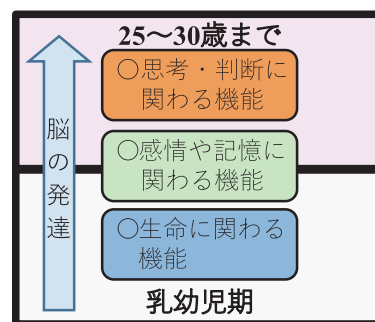


ヒトの発達の謎を解く（令和元年10月 ちくま新書明和政子）を参考に作成

< コラム >

「小学校入学前に何をすればよいですか。」と聞かれることがあります。心や脳の発達から考えると、親しい大人から愛情をたくさんもらい、友達と遊びたいことに没頭できることが大切だと言えます。

抽象的な思考などを行う脳の発達は、およそ25歳までじっくり時間をかけて成長します。学びたいなどという意欲の基盤は幼児期に育つことを考えると、早期教育は必要ないと思われます。



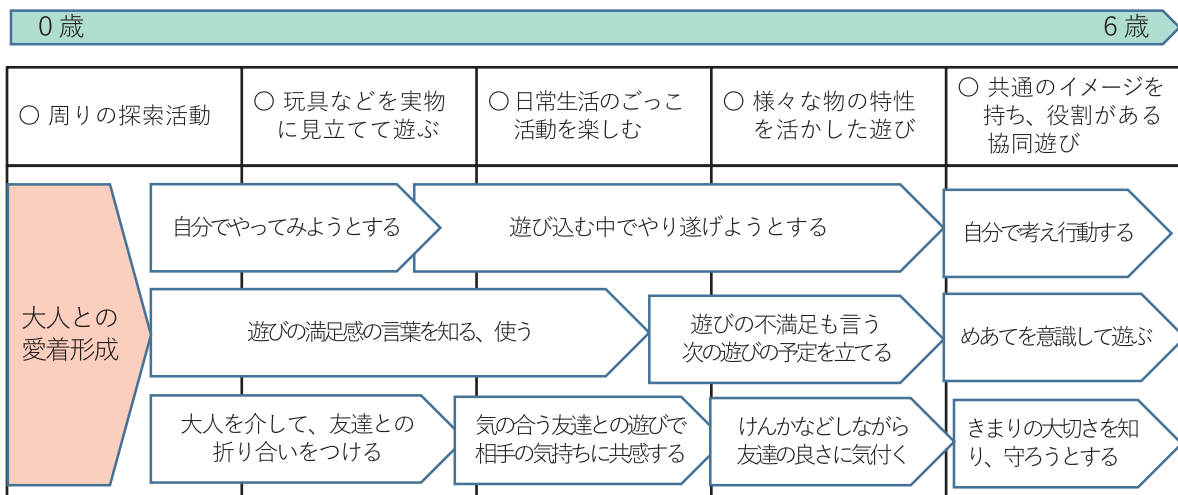
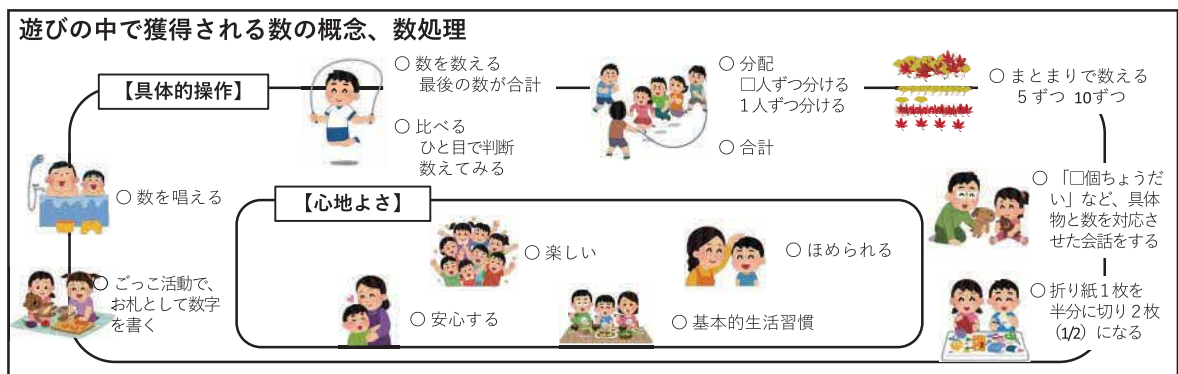
ヒトの発達の謎を解く（令和元年10月 ちくま新書明和政子）を参考に作成

子どもって遊んでばかりでいいの？小学校で困らない？

子どもの遊びは、大人で考える「仕事」や「勉強」の対極的なものではありません。乳幼児期の子どもの脳の特有の発達を考えても、「楽しい」「やってよかった」という「心地よさ」と、体全体を使って具体的操作を伴う活動が確保された遊びは、子どもの発達を促す大切な行為です。

子どもの興味・関心や発達に応じた遊びにより、小学校以降の学習につながる知識・技能、思考力・判断力・表現力ばかりではなく、好奇心や自制心、協同性なども培うことができます。

例えば、100までの数が数えられるようになる、足し算ができるようになるなどという、小学校の算数で学習することは、実は幼児期の遊びの中で、子どもがより楽しもうとする中で、工夫や試行錯誤することを通して行っていることです。幼児教育施設の先生は、そういった活動が、子どもが遊びに没頭している中で行えるように工夫しています。



< コラム >

保育所などの先生は、保育が終わった後に、一人一人の育ちや学びを記録し、次の日の活動を考えます。加えて、子どもの発達の道筋や、子ども一人一人の適切な遊びや支援の仕方などについて研修しています。

子育てについて、ぜひ相談してみてください。子どもの良さや子どもの遊びや関わり方が新たにわかると思います。



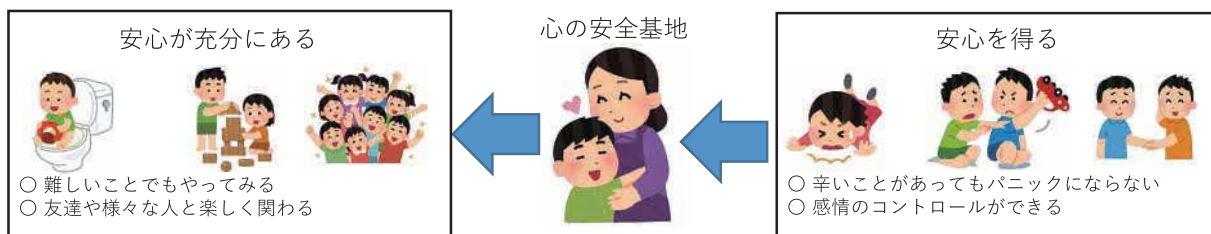
子どもってどんな接し方をすればいいの？

新生児の頃から子どもは保護者や保育者の表情、声に加えて、手の感触などを認識し、安心を得ています。子どもができないことに挑戦したり粘り強く取り組んだりすることができるのは、保護者や保育者の関わりに愛情を感じているからです（愛着行動）。

周りの大人の愛情のある関わりの受け止め方は、一人一人の子どもによって違います。「お兄ちゃんは、だっこを要求しなかったのに・・・」などと悩むことがあるかと思います。

愛着行動は、ある一定の道筋を行ったり来たりしながら自立へと進んでいきます。他の子どもと比べたり、〇歳には～しなければならないと決め付けたりせずに、しっかり子どもが愛情を感じられるようにすることが大切です。

子どもの愛着形成の発達	
およその目安	愛着行動の姿
～およそ3か月	○ 生まれながらの能力で人に注意を向けたり、働きかけたりする。
およそ3か月～6か月	○ 安心できる人と結びつきができてくる。
6か月～2, 3歳	○ 人見知りをする。 ○ 安心できる人がいなくなると、パニック状態になる。
3歳頃～	○ 安心できる人と離れたり戻ったりする遊びを繰り返す。
自立に向かう	



「乳幼児期を大切に」『ふれあって、親子の絆を』 指導用スライド教材Ⅳ
スライド教材 CD と指導の手引（平成 24 年 3 月 東京都教育委員会）より作成

〈コラム〉



赤ちゃんをくすぐると、とてもうれしそうに声を出して笑います。赤ちゃんが笑うと一緒に笑顔になります。赤ちゃんはこうした反応を見て、愛情を感じます。

こうした関わりは、大人の育児に対しての意欲や他の人とのコミュニケーション能力を高めます。これは、母親ばかりではなく、他の大人にも見られるといわれています。

2歳くらいからの「いやいや」は、自立心や自己理解の芽生えにより、自分の主張ができるようになった現れです。

しかし、愛着形成は途中ですので、見放されたり否定されたりすると子どもの不安を募らせます。「いやいや」の原因を会話で聞く、一緒に「いやいや」というなど、いろいろな方法を試すとよいです。



子どものよりよい発達のために保護者は何をすればよいの？

子どもは、保護者などの大人の顔色や声色を伺う力に長けているので、大人が何気なく発した言葉で、子どもに遊びをやめさせることも広げたり深めたりさせることもできます。

子どものよりよい育ちや学びのために、みなさんはどんな声かけをしますか？また、日頃はどんな声かけをしていますか？

泥遊びをしているときどんな声かけをしますか？				
大人の声かけ	① 服汚さないでね。	② それで、泥団子を作ってみなさい。	③ 楽しそうだね。	④ チョコレートみたいだね。
↓				
子どもの反応	○ 泥遊びをやめる。	○ 泥団子を作り始める。	○ 泥遊びの楽しいところを説明する。	○ 泥を何かに見立て、作ってみようとする。
↓				
新たな大人の声かけ	○ 服が汚れなくてすむね。	○ すてきな泥団子を作ってね。	○ あっちの砂場より楽しい？	○ お菓子屋さんができるね。
↓				
子どもの経験(学び)	○ 服が汚れることをすると怒られる。	○ 泥団子の作り方を覚える。	○ 泥と砂との性質の違いに気付く。	○ 水の量で泥の固さが違うことに気付く。



子どもがけんかをしているときにどんな声かけをしますか？				
大人の声かけ	① 何でけんかするの。	② すぐ謝りなさい。	③ あっちでお話しましょうか。	④ 楽しく遊んでいたのに。残念だなあ。
↓				
子どもの反応	○ けんかをやめる。	○ 謝る。	○ 落ち着く。	○ カッとなった理由を思い出す。
↓				
新たな大人の声かけ	○ けんかはダメ。	○ 謝ってよかった。	○ 落ち着けたね。いつものB君に戻ったね。	○ 何があったの？
↓				
子どもの経験(学び)	○ けんかは叱られるので一人で遊ぶ。	○ 謝ればすむ。	○ 落ち着くと気持ちがよくなる。	○ 行動を振り返る。 ○ 友達のことも考えてみようとする。



〈コラム〉

子どもが遊んでいるときに、いつも「素晴らしいね」と肯定的な声かけをすることがよいとは限りません。登園間近なのに遊んでいれば、やはりやめさせる必要があります。友達とのトラブルも、子どもに寄り添う姿勢は大切ですが、間違いは正す必要があります。

声かけに正解はありませんが、子どもとの会話はずませるつもりでいると、子どもも安心して遊びやくらしを創っていくことができると思います。




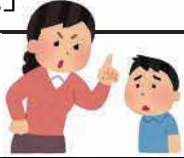
適切な生活習慣の形成は子どもの自立、自律を育てます

基本的な生活習慣の形成とは、「食べる」「排泄する」などといった、生きるために必要なことが自分の力でできるようになることです。子ども自身が考えて生涯にわたってできるようにすることが最大の目的であることをふまえると、子どもが必要感を感じて、自ら「できるようにになりたい」と願いながら取り組めるように支援していくことが重要だと思います。

「基本的な生活習慣は『しつけ』であり、子どもに身に付けさせるもの」という考えがあります。こういった大人は、その他の場面でも同じように、子どもに考えさせることをせずに、大人の思い通りに行動させる傾向が高いようです。

こうした「強制型」のタイプのみで育てられると、他者の指示を受けて行動するようになっていっています。これでは、成人しても自分で基本的な生活ができなくなってしまいます。

いつもというわけではないですが、子どもが考えることを支えられる「共有型」で接し、子どもの生きて働く自立心を培う機会を多く設ける必要があると思います。

基本的な生活習慣形成のタイプ	「共有型」	「強制型」
大人の特徴	○ 子どもが考えることができるように支援する 	○ 指示により、自分の思い通りに行動させる 
具体的な姿	子) ブロックを手に取り、置こうとする。 保) 「あ！あ！ぴったんこ！ そこに…うんうん！」 子) もう1つ同じようにブロックを置こうとするが、うまくいかずにかごに戻す。 保) 「いいねえ。こっちはぴったりはまったよ。あそこのちっちゃいブロックを使ってみる？」 子) 小さいブロックを組み合わせて置く。 保) 「あ！ぴったんこ！」 子) 「ぴったんこ！」	保) 「後三角（ブロック）3つだよ。」 子) 一個… 三角のブロックを5つ手取る。 保) 「そんなにいらないよ。後3つだもん。」 子) ブロックを戻す。 保) 「のつけてごらん。」 子) ブロックを置く。 子) 「あ、こうか…。」 三角のブロックの向きを変える。 保) 「うん、そうでもこうでもいいんだけどさ…。そんなに几帳面に置くの？もういいよ。」
子どもの様子	○ 主体的に、自分で考えて行動する	○ 他者の指示を受けて行動する

保) は保護者

しつけスタイルは学力基盤力の形成に影響するか—共有型しつけは子どもの語彙獲得や学ぶ意欲を育てる鍵—
(平成23年 内田伸子他)

＜コラム＞

つまむことなど、自分の思い通りに体が動かせるようになってくると、食事でも自分で食べたいという欲求を持ち始めます。時には、こぼしたり、手づかみで食べたりすることもあります。

行儀よく、きれいに、好き嫌いをなく食べることは大変重要ですが、乳幼児期の「食事は楽しい」という感覚は、それ以降ではなかなか培うことができないと言われています。必要最小限の食べ物を並べるなど、環境を整えて大人も「楽しむ」余裕を持つ日を設けてみてはどうでしょう。



島根は「孤^こそだて」をさせません

子どもはかわいい！ でも子育ては大変…

島根県では、オール島根で子育てを応援！子育てを一人で抱え込まないでください。各地域の子育て支援センターや相談機関をどうぞご利用ください。

例えば…

市町村では…地域子育て支援センター、子育て世代包括支援センターがあります。保健師さんや子育ての担当の職員が相談に応じますし、同じ悩みを持つ保護者の方に出会えることもあります。

県内には、相談機関がたくさんあります。

子どもと家庭電話相談室 0120-258-641

松江赤十字乳児院 (0852)24-6418

助産師ダイヤル

子育て・女性健康支援センター・しまね 090-7135-4637 (毎月 1~15日)

090-7136-4609 (毎月16~31日)



施設名	住所	電話番号	施設名	住所	電話番号
松江子育て支援センター・あいあい	松江市乃白町32-2	0852-60-8141	地域子育て支援センター	安来市下坂田町197-1	0854-23-1577
松江赤十字乳児院	松江市南田町162	0852-24-6418	地域子育て支援センター	安来市切川町624-2	0854-23-1999
おもちゃの広場	松江市白湯本町43	0852-32-1195	つどいの広場	安来市黒井田町160-7	0854-23-7050
美保閩子育て支援センター	松江市美保閩町下宇部尾61-2	0852-55-5751	江津子育てサポートセンター	江津市嘉久志町イ889-74	0855-52-0569
たまゆつどいの広場	松江市玉湯町湯町683-8	0852-62-9546	のぞみ子育て支援センター	江津市都野津町2325-3	0855-53-2555
やくも子育て支援センター	松江市八雲町東岩坂404-1	0852-67-3251	あさり子育て支援センター	江津市浅利町336-4	0855-55-1024
穴道子育て支援センター	松江市穴道町佐々布204-4	0852-66-1428	谷住郷子育て支援センター	江津市桜江町谷住郷1824-1	0855-92-0338
東出雲子育て支援センター	松江市東出雲町塙屋1216-1	0852-52-9583	大東子育て支援センター	雲南市大東町下阿用691-2	0854-43-3129
鹿島子育て支援センター	松江市鹿島町北講武885-5	0852-82-9334	木次子育て支援センター	雲南市木次町里方915-1	0854-42-2030
浜田市子育て支援センター	浜田市松原町235-1	0855-22-1253	掛合子育て支援センター	雲南市掛合町掛合2149-2	0854-62-9900
ひなしっこクラブ	浜田市日脚町714番地1	0855-27-1230	加茂子育て支援センター	雲南市加茂町加茂中1001-4	0854-49-8355
子育て支援センターはぐはぐ	出雲市西林木町151	0853-22-6570	三刀屋子育て支援センター	雲南市三刀屋町三刀屋1212-3	0854-45-9888
中央保育所れもん組	出雲市今市町828-2	0853-21-0597	仁多子育て支援センター	奥出雲町三成690-1	0854-54-0200
駅ナカ赤ちゃんルーム	出雲市駅北町10-3	0853-21-1496	よこた子育て支援センター	奥出雲町横田1125	0854-52-2296
たいしゃ子育て支援センター	出雲市大社町杵築南1397-2	0853-53-2666	飯南町子育て支援センター	飯南町野萱774-2	0854-76-3284
いずも子育て支援センター	出雲市塩治町641-9	0853-21-5772	川本町子育てサポートセンター	川本町大字川本332-16	0855-72-1570
さだ子育て支援センター	出雲市佐田町須佐1146	0853-84-0125	美郷町子育て支援センター	美郷町粕洲37-4	0855-74-2270
ひらた子育て支援センター	出雲市平田町2112-1	0853-63-3990	瑞穂子育て支援センター	邑南町上亀谷2185-3	0855-83-0506
ひかわ子育て支援センター	出雲市斐川町大字上庄原1760-1	0853-73-7375	石見子育て支援センター	邑南町中野2310	0855-95-0928
たき子育て支援センター	出雲市多伎町小田50-5	0853-86-2711	津和野子育て支援センター	津和野町直地70	0856-72-0640
こりょう子育て支援センター	出雲市湖陵町二部1745-2	0853-43-2621	日原子育て支援センター	津和野町日原25番地	0856-74-0742
益田市立子育て支援センター	益田市常磐町11番1号	0856-22-2851	子育て交流サロン	吉賀町六日市263	080-2889-7889
大田子育て支援センター	大田市大田町吉永1355-1	0854-82-1791	つばみ(海士町子育て支援センター)	海士町大字海士3980-31	08514-2-0540
仁摩子育て支援センター	大田市仁摩町仁万559-1	0854-88-4933	子育て支援センター「シオン」	西ノ島町別府149-9	08514-7-8411
温泉津子育て支援センター	大田市温泉津町小浜イ306-1	0855-65-2075	ポンポコクラブ	知夫村1065番地	08514-8-2211
安来市子育て支援センター	安来市広瀬町広瀬1930-1	0854-23-3222	地域子育て支援センター	隠岐の島町下西吉賀下166-2	08512-2-0144
地域子育て支援センター	安来市安来町924-3	0854-22-3567	今津子育て支援センター	隠岐の島町今津548-37	08512-2-0861

担当

島根県幼児教育センター
島根県松江市殿町1番地
島根県教育庁教育指導課地域教育推進室内

TEL 0852-22-6867 FAX 0852-22-6026

島根県幼児教育センター

検索